

緊急安全統括管理者会議 議事概要

令和6年9月30日（月） 16:00～17:00

於：中央合同庁舎3号館 10階共用会議室

（WEB併用開催）

○鉄道局長冒頭発言

- ・利用者からの信頼を裏切る事案が数多く判明しており、憂慮に堪えない。
- ・いわゆる改ざんなどの不正行為は、安全確保の仕組みを根底から覆すものであり、鉄道行政を預かる立場として、心からの危機感を抱いている。
- ・本日の会合の第一の趣旨は、この危機感を共有していただきたい、というものである。
- ・鉄道輸送の安全確保の同志である全国の安全統括管理者が、トラブルの概要、その原因分析、そして再発防止策などについて情報共有し、他社でのトラブルを「他山の石」として、自社でのトラブル防止に活用いただく、ということが第二の趣旨である。
- ・第三の趣旨は、今回の一連のトラブルを踏まえて、「本社と現場」、「親会社と子会社」、「自社と協力会社」、それぞれの関係性を再点検していただく契機としていただきたい、ということである。

○鉄道局 資料に基づく説明

○各鉄軌道事業者 資料に基づく説明

○各鉄軌道事業者からの主な意見

- ・輪軸の安全性を検証する会議を通じ、より深い知見が出れば、鉄軌道事業者にとって適切な輪軸の管理につながる。
- ・JISの圧入の値だけでなく、全体で見たときにこれで安全だという判断として出していただけるとありがたい。
- ・最新の知見の中で必要十分な管理方法が見つかれば、作業を行う側も基準への理解が進み、不正の防止につながる。
- ・知見のある方から様々な観点で議論いただきたい。

○大臣訓示（別紙）

以上